



鳥取県立 倉吉総合看護専門学校

■ 助産学科 ■ 第1看護学科 ■ 第2看護学科

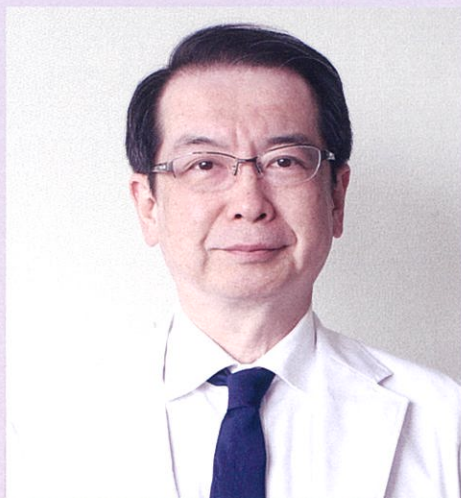


Kurayoshi General Nursing College Of Tottori Prefecture



2代目あおいさんとわかばさん

学 校 紹 介



齊藤博昭 校長

医療は近年目覚ましく進歩し、看護職に求められる役割はかつてないほど多様化しています。しかし、どれほど技術が高度化しても、医療の本質が「人と人とのつながり」にある事実には変わりはありませんし、今後も変わることはないと思います。本校では、看護師や助産師として必要な専門知識やスキルの習得はもちろんのこと、相手に寄り添うために必要な豊かな人間性の育成を教育の柱に据えています。また、学生一人ひとりの個性と志を尊重した丁寧な指導を行い、生涯にわたって自ら学び続けられる看護職の育成を目指しています。こうした教育の実践により、本校は高い国家試験合格率を維持し、卒業生は地域医療の第一線で人々の健康と福祉の向上に大きく貢献しています。

皆さんが本校での充実した学生生活を通じて、豊かな人間性を育み、将来の地域医療を担う看護職へと成長されるよう、教職員一同、全力で支援いたします。

■ 沿革

| | |
|----------|--|
| 昭和 6年12月 | 鳥取県知事から看護婦養成所の指定を受ける |
| 昭和25年 4月 | 厚生大臣から乙種看護婦養成所の指定を受ける |
| 昭和39年12月 | 鳥取県立倉吉高等看護学院として進学コースによる養成を開始する |
| 昭和52年 4月 | 鳥取県立倉吉総合看護専門学校として、保健助産学科・第1看護学科・第2看護学科の3学科による養成を開始する |
| 平成21年 4月 | 保健師課程を廃止し、助産学科を設置する |
| 平成23年 4月 | 第1看護学科定員を25人から35人に増員する 本校舎横に実習棟を新築する |

■ 課程、学科、定員及び修業年限

| 課 程 | 学 科 | | 定 員 | | 修業年限 |
|------|------|--------|------|------|------|
| | | | 総定員 | 学年定員 | |
| 専門課程 | 看護学科 | 第1看護学科 | 105人 | 35人 | 3年 |
| | | 第2看護学科 | 40人 | 20人 | 2年 |
| | 助産学科 | | 16人 | 16人 | 1年 |

本校は助産学科、第1看護学科、第2看護学科の3学科により保健・医療・福祉の現場で活躍できる人材を養成する総合看護専門学校です。

■ ■ 教育理念 ■ ■

豊かな人間性と専門的な知識・技術を有する看護職を養成することを教育の目的とする。生涯にわたって自己研鑽に努め、県民の健康と福祉の向上に貢献できる看護職の養成を目指す。

助産学科

●実習施設の指導者による分娩介助技術指導



実習施設の助産師から施設での分娩介助法を学びます。実習前には繰り返し練習し、施設での分娩介助に備えます。

●いのちの尊厳について学び伝える学習



実習では、助産師の立場から小学校5年生を対象にいのちの大切さを伝える授業をしています。

●卒業前に地域でイベントを開催



実習で受け持たせていただいた方をお招きし「産後café」を開催します。
ハンドマッサージをしながら子育てについてのお話を伺いました。

看護学科

●シミュレーターを用いた実技演習



学生同士でも確認し合いながら何度も繰り返し練習し、手技を磨きます。

●専門職の連携と社会資源の活用の実践



医療機器業者さんに講義に来てもらっています。これは、在宅療養者に使用する呼吸器の体験です。

●ICTを活用した教育活動



学生主体で協力して課題に取り組み、学習成果を発表しています。

助産学科

看護の基礎知識の上に、さらに助産師としての実践能力を養います。

助産師はウイメンズヘルスの支援者です。周産期の母子と家族にとどまらず、思春期・更年期の女性や不妊相談等、女性のライフサイクル全般にわたり支援できる能力を習得します。

講義と実習の統合により、幅広い分野で活躍できる専門性の高い助産師を育成します。



妊娠期助産技術学

学生同士で妊婦役と助産師役となり、分娩監視装置装着の練習を行います。



ハイリスク演習

実習での経験や学びをもとに、ハイリスク事例についての演習を行います。



助産学科 18期生の集合写真

助産師として必要な知識と技術の習得に日々励んでいます。



助産学科

臨地実習や授業を通して、地域と関わり、地域に根差した母子保健を学んでいます。

先生方からの丁寧な指導を受けながら、16人の仲間と切磋琢磨し成長しています。

母子の様々な背景を知り、対象にあった支援ができるような助産師になりたいです。



助産学科

産婦人科クリニックで、看護師として勤務しながら受験勉強をして入学しました。

臨床で働いた経験を活かし、同じ目標を持つ仲間とともに日々学びを深めています。

母子や家族に寄り添い、「あなたがいてくれて良かった」と思われる助産師を目指します。



助産学科 卒業生

助産学科では、講義や演習を通して、多様な視点から知識・技術を身につけることができました。

実習では、病院に限らず、地域での活動を経験し、助産師の活動を幅広く学びました。

実習で出会った対象の方や同じ志をもつ仲間との出会いは、私にとって大きな支えになっています。

INFORMATION

■本校の教育内容

- ◆定員 / 16名
- ◆修業年限 / 1年間
- ◆資格 /
 - 助産師国家試験受験資格
 - 受胎調節実地指導員の認定申請資格
 - 新生児蘇生法「専門」コース(Aコース)

【主な実習先】

- 県立病院・市町村・子育て総合支援センター・診療所・小学校など

【主な就職先】

- 県内の公立病院 大学病院・民間病院・診療所
- 県外の公立病院 大学病院・民間病院・診療所

| 教育内容 | | 単位数 |
|----------------|---|-----|
| 基礎助産学 | 性と生殖に焦点をあて、生涯を通じて対象を支援する助産に必要な基礎的能力を習得します。 | 7 |
| 助産診断・技術学 | 助産の実践に必要な基本的知識・技術・コミュニケーション能力の習得を図ります。 | 11 |
| 地域母子保健 助産管理 | 多職種と連携・協働しながら、地域における子育て世代を包括的に支援する方法を学習します。 | 5 |
| 臨地実習 | 病院・診療所・学校・市町等で、助産に関する理論と助産技術の統合を図ります。 | 11 |
| 合計 | | 34 |

本学科の教育課程は本校のホームページをご覧ください

第1看護学科

看護の専門職として必要な知識、技術、態度を学ぶことにより、看護を実践するための基礎的能力を養うとともに、人間尊重の理念に基づいた看護活動の展開ができる看護師を育成します。

【アドミッションポリシー（入学受入れの方針）】

1. 人に関心を持ち、人とのかかわりを大切にし、思いやりと倫理観をもつ人。
2. 他者の意見に耳を傾け、自分の考えを適切に表現できる人。
3. 看護を学ぶために必要とされる基礎的学力と学習習慣を身につけている人。
4. 基本的な生活習慣を身につけている人。
5. 自ら学ぶ姿勢をもつ人。
6. 看護職を目指す者として、専門的知識や技術の修得に意欲を示す人。



専門的な技術は、知識の確認を行いながら確実に実施していきます。

新1年生の集合写真



看護師としての知識や技術を身につけるために頑張ります！



第1看護学科 2年生

実習で患者さんの「早く家に帰って家族と家で過ごしたい」という思いに触れ、退院に向けた看護ができるよう知識や技術を身につけたいという思いが強くなりました。試験や実習で大変なこともあります、クラスみんなで協力し、日々成長できる環境で学んでいます。



第1看護学科 3年生

講義や演習を通して、疾患の特徴や患者さんとの関わり方を学んでいます。学んだことを実習で実践する中で、相手の立場に立って物事を考えることの大切さを実感しています。生まれ育った鳥取で将来活躍できるよう、自分の強みを活かしながら看護実践できる看護師になりたいと思い、日々学業や実習に励んでいます。



第1看護学科 卒業生

学校での講義や病院での実習は大変なこともありましたが、仲間と支えあいながら乗り越え、先生方のご指導のもとで多くのことを学びました。特に実習では、患者さん一人ひとりの思いや生活背景を理解し、その人に合った関わりをすることの大切さを実感しました。

現在は実習でお世話になった病院で学びを活かし、成長できるよう頑張っています。

INFORMATION

◆定員／35名

◆修業年限／3年間

◆資格／

- 看護師国家試験受験資格
- 保健師、助産師学校受験資格
- 養護教諭養成課程受験資格
- 大学編入学受験資格

【主な実習先】

- 病院
- 高齢者福祉施設、保育園、訪問看護ステーション

【主な就職先】

- 県内の公立病院、大学病院、民間病院
- 県外の公立病院、大学病院、民間病院

【主な進学先】

- 本校助産学科、大学専攻科等

■本校の教育内容

| 教育内容 | | 単位数 |
|------------|------------------------------|-----|
| 基礎分野 | 科学的思考の基礎 | 15 |
| | 人間と生活・社会の理解 | |
| 専門基礎分野 | 人体の構造と機能 | 25 |
| | 疾病の成り立ちと回復の促進 健康支援と社会保障制度 | |
| 専門分野 | 基礎看護学 | 69 |
| | 地域・在宅看護論 | |
| | 成人看護学 | |
| | 老年看護学 | |
| | 小児看護学 | |
| | 母性看護学 | |
| | 精神看護学 | |
| | 看護の統合と実践 | |
| | 実習 | |
| | 基礎看護学実習 | |
| 地域・在宅看護論実習 | | |
| 成人老年看護学実習 | | |
| 小児看護学実習 | | |
| 母性看護学実習 | | |
| 精神看護学実習 | | |
| 統合実習 | | |
| 合 計 | | 109 |

本学科の教育課程は本校のホームページをご覧ください

第2看護学科

准看護師資格をもとに、より専門的な知識・技術を身につけ、看護師の資格を取得するための教育課程です。

看護の専門職として必要な知識、技術、態度を養うとともに、人間尊重の理念に基づいた看護活動の展開ができる看護師を育成します。

准看護師の資格を取得した後、幅広い年齢層の仲間が、向上心に燃え、共に協力しあいながら看護師を目指しています。卒業生は県下の医療機関を中心に活躍しています。看護師資格を取得したいあなたの情熱を支援し、夢の実現に向けて応援します。



診療に伴う技術

心肺蘇生の演習では胸骨圧迫、人工呼吸、AEDの使用方法などを学びます。



グループワーク

学生同士で意見交換を行い、多様な視点を踏まえて課題に取り組みます。



第2看護学科 1年生

若葉寮で寮生活をしながら通学しています。

年齢や経験の異なるクラスメイトとともに少人数で協力しながら学習に取り組んでいます。

困った時や悩みがある時にはクラスメイトや先生方、寮の舎監さんに相談できる環境が整っており、安心して学校生活を送ることが

できています。

日々忙しさはありますが、その中で充実した学びを得られる毎日を過ごしています。



第2看護学科 2年生

県外からの入学で最初は不安もありましたが、住みやすい環境で安心して新生活を始めることができました。少人数のため先生やクラスメイトとの距離が近く、気軽に相談ができ、授業中も意見交換がしやすい雰囲気です。講義や演習では、准看護師の知識を基盤に病態などより深く掘り下げることが

でき、臨床経験の豊富な医師や外部講師から直接指導を受けられるのが魅力で、専門的な学びを得るのがとても楽しいです。課題や実習で大変なこともあります。先生方がいつも励まし、支えてくださるので、毎日充実した学校生活を送っています。



第2看護学科 卒業生

在学中は少人数だったからこそ、一人ひとりが多くの技術を経験でき、わからないことも先生に相談しやすい環境で学ぶことができました。また、クラスメイトと共に悩みながら成長できたことも大きな学びとなっています。

現在は野島病院に勤務しています。疑問点はそのままにせず積極的に確認し、知識、技術を深めるために日々努力しています。

仲間と共に協力し学ぶ姿勢を大切にがんばっています。

INFORMATION

◆定員/20名

◆修業年限/2年間

◆資格/

- 看護師国家試験受験資格
- 保健師、助産師学校受験資格
- 養護教諭養成課程受験資格
- 大学編入学受験資格

【主な実習先】

- 病院
- 訪問看護ステーション、児童福祉施設

【主な就職先】

- 県内の公立病院、民間病院
- 県外の公立病院、民間病院

本校の教育内容

| 教育内容 | | 単位数 |
|------------|------------------------------|-----|
| 基礎分野 | 科学的思考の基盤 | 9 |
| | 人間と生活・社会の理解 | |
| 専門基礎分野 | 人体の構造と機能 | 18 |
| | 疾病の成り立ちと回復の促進 健康支援と社会保障制度 | |
| 専門分野 | 基礎看護学 | 50 |
| | 地域・在宅看護論 | |
| | 成人看護学 | |
| | 老年看護学 | |
| | 小児看護学 | |
| | 母性看護学 | |
| | 精神看護学 | |
| | 看護の統合と実践 | |
| | 実習 | |
| | 基礎看護学実習 | |
| 地域・在宅看護論実習 | | |
| 成人老年看護学実習 | | |
| 小児看護学実習 | | |
| 母性看護学実習 | | |
| 精神看護学実習 | | |
| 統合実習 | | |
| 合 | 計 | 77 |

本学科の教育課程は本校のホームページをご覧ください

学 校 生 活



宣誓式

学生が看護をこころざすものとしてより深く学ぼうと決意を新たにするセレモニーです。



ポロシャツ

学生がデザインしたポロシャツです。学内演習や実習、学校祭などいろいろな場で活用しています。



学校祭

地域の人も参加して盛り上がりました。



茶道部

裏千家の先生から日本の伝統文化である茶道を学び、礼儀作法を身につけます。

【入学時の必要経費】

(令和8年度の経費であり変更になることもあります。)

- 入 学 料 5,550円
- 授 業 料 9,400円 (月額)
- 後援会費 9,400円 (年額)
- その他経費 学年ごとに納入していただきます。

【卒業までに必要な経費概算】

(単位：円)

| 項 目 | 助産学科 (1年間) | 第1看護学科 (3年間) | 第2看護学科 (2年間) |
|---------|---------------|-----------------|-----------------|
| テキスト代 | 120,000 | 210,000 | 140,000 |
| 教材費 | 100,000 | 60,000 | 25,000 |
| 国家試験関係費 | 60,000 | 85,000 | 53,000 |
| 研修費 | 70,000 | | |
| その他 | 10,000 | 15,000 | 13,000 |
| 合 計 | 360,000 | 370,000 | 231,000 |

上記以外に

※入学後、白衣・実習靴 (35,000円程度)、臨地実習のための交通費 (40,000円程度)、予防接種費用等は自己負担となります。

※第1看護学科は、令和6年度入学生より電子テキストを導入しています。別途、タブレット端末を準備していただく必要があります。端末にかかる費用は上記に含まれていません。

【奨学金・修学資金貸付制度】

- 日本学生支援機構奨学金
- 鳥取県看護職員修学資金

【施設概要】

●学生寮

- ▶寄宿舎「若葉寮」定員61名
- ▶通学困難等の理由で、女性に限り入舎できます。
- ▶室料は無料ですが、光熱水費及び共通経費は個人負担となります。

●校 舎

*敷地内は全面禁煙です。



2代目あおいさんとわかばさん

※鳥取県立倉吉総合看護専門学校のホームページもご覧ください。

<https://www.pref.tottori.lg.jp/kurayoshikango/>

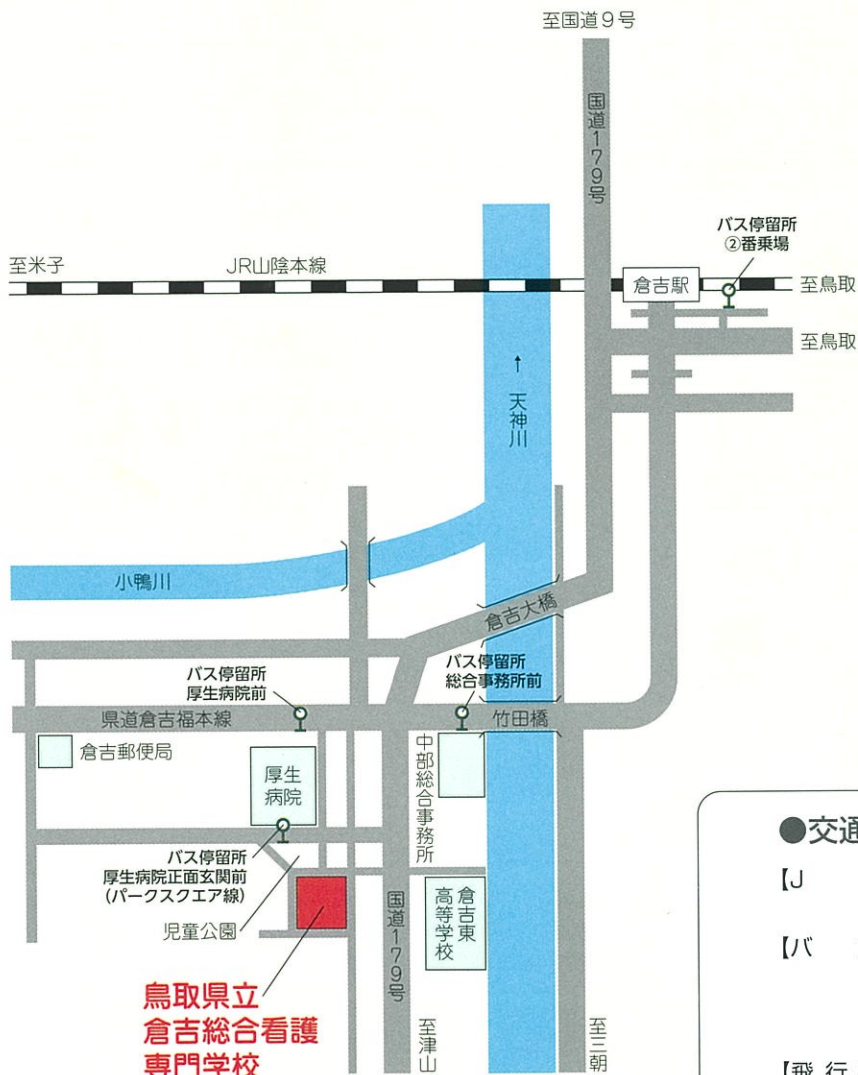


ホームページ
QRコード



インスタグラム
QRコード

■ アクセス



● 交通手段

- [J R] 鳥取 ▶ 倉吉 / 快速40分
米子 ▶ 倉吉 / 快速40分
- [バ ス] 倉吉駅からバス10分
厚生病院前下車、徒歩10分
厚生病院正面玄関前下車、徒歩3分
(パークスクエア線)
- [飛行機] 東京 ▶ 鳥取 / 約70分 1日5便
- [特急バス] 大阪(神戸) ▶ 倉吉 / 4時間

鳥取県立倉吉総合看護専門学校

〒682-0805 鳥取県倉吉市南昭和町15番地
TEL (0858)22-1041 FAX (0858)23-5953